

**～午前の部～**

**カナイオークション**

**1.古い銀製の銃**

銀で作られた32口径リボルバー。持ち手部分は木であり、そのほかの部分は銀であるが、古く汚れている。

この銃から発射された弾丸で、悪魔を退けたという逸話がある。

最低入札価格は150ドル。

**2.絵画「食事をする食屍鬼」**

グールが人間の屍を貪り喰う様を描いた絵。非常にリアルで生々しく、見るものに嫌悪感を与える。ピックマンという画家が描いたとされ、カルト的な人気を誇る。

最低入札価格は400ドル。

**3.奇妙な文様が施された青銅の機械**

長さ15cmほどの、長方形の箱。正面には拳大のくぼみがついており、底面は何かと組み合わせるかのようにへこんでいる。

200年ほど前に先住民が手に入れたとされ、当時の技術では再現できない作りのオーパーツである。

最低入札価格は500ドル。

**4.いわくつきの黒い金属の塊**

ドアの取っ手程度の大きさ。イボがいくつもついており、表面にはワイヤーがついている。この金属の塊の発見者は、後日、自宅で雷に打たれ死亡した状態で発見され、手にはこの塊が握られていたという。

最低入札価格は50ドル。

**5.血を吸う日本刀**

日本の刀匠集団「村正」が作ったとされる日本刀。その鞘を抜いたものは血を求め彷徨い歩くという。

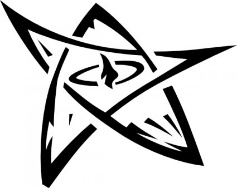
最低入札価格は300ドル。

**6.水晶髑髏**

マヤ文明の遺跡から発見されたという、水晶で作られた髑髏。一つの水晶を削られて作られたものであり、当時の技術では再現できないと考えられる。一説によれば、魔術の道具として扱われていたらしい。

また、水晶髑髏は13あり、全ての髑髏を集めれば大いなる叡智が手に入るという。

最低入札価格は4000ドル。



**7.焼け焦げた巻物**

この町で起きた火災跡から発見された巻物。解読できたものは恐ろしい炎の力を得るという。但し、ほとんどの部分が焼け落ちており解読は非常に難しいと考えられる。

最低入札価格は100ドル。

**8.聖別されたナイフ**

その昔、高名な司祭によって聖別を受けたとされるナイフ。その来歴の多くが不明になるほど古びているが、刀身は今も光を反射しており、何かの力を感じさせる。

最低入札価格は180ドル。

**9.小さな石像**

異教の徒が儀式に使っていたとされる石像。彼らはこの石像に生贄を捧げ、像の周りで踊りと共に祈りをささげていたという。何千年もの時を経たような暗緑色の色をしており、15センチほどの大きさの非常に精緻な作りの石像。

台座の上にうずくまった蛸のような怪物の像で、台座部分には金色もしくは虹色の斑紋や層門が入っている。

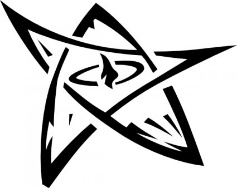
それに加えて、未知の文字のようなものが彫られており、このような芸術様式は過去に存在しないという。また、材質も不明。

最低入札価格は2000ドル。

**10.女王の金の指輪**

数百年前のとある女王が身に着けていたとされる指輪。100%純金でできており、非常に美しい輝きを放っている。

最低入札価格は1000ドル。



**～午後の部～**

**カナイオークション**

**11.～探索者の欲しい品物が出品される**

**1X.古代アトランティスの機械**

流氷の中から見つかった機械。出品ナンバー3の物と同じような文様が彫られている。用途は全く分からない。

この機械の輸送中、機械に触れた職員が意識不明になり、現在も目を覚ましていない。この機械を発見した冒険家は、古代アトランティスの物品だと説明している。

最低入札価格は3000ドル。

**1X.古代アトランティスの写本**

この本は大西洋を流れる氷の中から見つかった。この本は未知の言語で書かれている。発見した冒険家はかろうじてタイトルを解読した。タイトルは「エイボンの書」。解読は非常に困難である。

最低入札価格は5000ドル。